



現和の子

やさしく・かしこく・たくましく

令和4年度学校だより
西之表市立現和小学校
令和5年3月24日発行

大切にしたいこと

校長 横山 政文

野山の春花が咲き、陽気に誘われた動物たちがあちこちで動き回っています。種子島の短い春真っ盛りといったところでしょうか。令和4年度も、皆様のおかげで全ての教育活動を終える運びとなりました。職員を代表して心から感謝申し上げます。

この一年間、子供たちは、それぞれ自分の目標を立て、友達とともに学校生活を送ってきました。時には、壁にぶつかって悩みながらも、その子なりに大きな成長が見られたことを実感しています。中でも、あいさつに一言添えて対話をしたり授業での発表の時間を確保したりとあらゆる場面で自分の考えを言葉で伝えられるように取り組んできました。給食時間の放送では、子供たちや先生たちに好きな物や将来の夢等をインタビューする企画がありました。放送委員会を中心に、マイクに向かって楽しく対話が進み、教室では笑い声や歓声があがります。感染症対策に配慮しながら、子供たちの活力が校内に戻ってくる瞬間でもありました。対話といっても決して上手でなくてもよいのです。子供一人一人が自分なりの言葉で心を込めて相手に伝え、自分が話すのと同様に相手の話す内容もしっかりと聴き取るようにする。これから、人が人として社会生活を営む上で欠かすことのできない力になると信じています。

WBC (World Baseball Classic) 日本代表の栗山英樹監督は、プロ野球選手として全力プレーで活躍しましたが、病気のために現役生活7年間で早々に引退されました。その後、大学で教鞭を執るほどの努力を重ね、北海道日本ハムファイターズの監督就任後には日本一にも輝いています。常に、選手やスタッフと話し合い、語りかけながらチームづくりをし、選手への揺るぎない信頼をもってゲームに臨まれたそうです。WBC本大会準決勝においても、不振の村上選手に対して、言葉をかけ、語り合い、「最後はお前で勝つんだ、行ってこい。」とバッターボックスに送り出してあのサヨナラヒットが生まれました。

子供たちが生き抜くこれからの社会は、デジタル情報化が益々進むことでしょう。だからこそ、学校でも家庭でも地域でも「語り合う中での人間関係づくり」が不可欠であると考えます。子供の世界では、友達や先生との対話を通じて物事を決めたり合意形成したりすることが大切（大人の世界も同じですね）であり、目的は何のためかを第一に考え、少数意見でも大切に扱っていくことが求められています。自分が言うべき内容を自分なりの言葉で相手に伝え、同時に相手の話す内容もしっかり聴き取る力が重要です。今後も、自分の考えをもって、自ら行動できる子供を育てていきたいと考えています。

本年度も、保護者や地域の多大なる御支援と御協力が、本校にとって大きな支えとなりました。ありがとうございました。令和5年度もよろしく願いいたします。

4月行事予定



新しい仲間、自分
との出会い！
楽しみです。

- | | |
|--|--------------------------------|
| 6日(木) 入学式 親任式 始業式
春の交通安全運動 | 17日(月) 耳鼻科検診 |
| 10日(月) いじめ問題を考える週間～14日 | 18日(火) 家庭訪問～21日
全国学力・学習状況調査 |
| 11日(火) 知能検査 | 21日(金) 1年生を迎える会
親子読書週間～27日 |
| 12日(水) NRT 学力検査 学級PTA
PTA 総会 PTA 専門部会 | 25日(火) 歯科検診 |
| 13日(木) NRT 学力検査 | |



第130回卒業証書授与式

23日(木)は天気に見守られる中、無事に卒業式が行われました。コロナ禍の感染症対策に配慮しながらの練習、本番も最後の年でしょうか。本校の6年生は、在校生はもちろんのこと、たくさんの地域の方々にも見送っていただける幸せな卒業生です。この日の感激や感動が9人のこれからを支えていくのだと思います。学校全体で卒業式を創り上げる経験を、小さな1年生の頃から味わってくるからこそ、現和の伝統が繋がるのです。



生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに 胸をよぎ
る愛しい 人々の温かさ この星の片隅で巡り会えた奇跡は
どんな宝石よりも 大切な宝物

生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと
笑ったこと そのすべてに ありがとう
この命にありがとう

式中、全員で歌った
竹内まりや「いのちの歌」より

